

マレーシア語では、次の様な形を受動態と呼ぶことがあるが、これらの形は被動者を焦点化する構文と呼ぶのが正しいと思われる。この中、3人称の形は、他の1, 2人称とは異なり、元来は3人称の代名詞 *dia* 起源とされる *di-*が受動形態素と看做された為に、*di-*+語幹の後に更に動作主を置いて補強するという特別な形を取るようになった。3人称だけは、①英語の動作者を示す *by* に相当する *oleh* 句を強調した時には取ることができる、②動作者を省いた言い方ができるという点から、英語等の受動態に近い形ということもできる。

(7) A は B に叩かれた。

a. *Anjing itu dipukul oleh Ali.*

犬 その 叩かれる ~によって アリ
(その犬はアリに叩かれた)

b. *Anjing itu kupukul.*

犬 その 僕は叩く
(その犬を僕は叩く)

c. *Anjing itu kaupukul ke ?*

犬 その 君は叩いた [疑問]
(その犬を君は叩いたか?)

3人称に付く *oleh* は、1, 2人称のパターンには表れないので、次の様な形は排除される。

d. **Anjing itu dipukul oleh aku.*

犬 その 叩かれる ~によって 僕
(その犬は私によって叩かれた)

e. **Anjing itu dipukul oleh engkau ?*

犬 その 叩かれる ~によって 君
(その犬は君によって叩かれたのか?)

(イ) A は B に足を踏まれた。(持ち主の受身, 身体部位)

a. Kaki Ali terpijak oleh Khatijah

足 アリ 踏まれる ~によって ハティジャ

(Lit.アリの足はハティジャによって踏まれた/アリはハティジャに足を踏まれた)

terpijak は「ついうっかり踏む」の意味を表す。(イ)a.を能動態で表現すれば, 次の様になる。

b. Khatijah terpijak kaki Ali.

ハティジャ うっかり踏む 足 アリ

又, この場合, 次の様にアリを主題とした文はできない。

c. *Ali dipijak kakinya oleh Khatijah.

アリ 踏まれる 彼の足 ~によって ハティジャ

d. Ali ditembak Khtijah pada kepalanya.

アリ 撃たれる ハティジャに ~の箇所を 彼の頭

(アリはハティジャに頭を撃たれた)

この場合, 次の様に, 「アリの頭」を主語にした形も可能ではあるが, (イ)d.の文が一般的である。

e. Kepala Ali ditembak Khatijah.

(アリの頭はハティジャによって撃たれた)

「アリはハティジャに足を踏まれた」の意味を, (イ)d.のパターンで表すことはできない。

f. *Ali dipijak Khatijah pada kakinya.

アリ 踏まれる ハティジャ ~の箇所を 彼の足

(イ)d.が可能であるのに, (イ)f.が不可能であるのは, Ali ditembak Khatijah (アリはハティジャに撃たれた)がおかしな解釈とはならないのに対して, Ali dipijak Khatijah. (アリはハティジャに踏まれた)がおかしな解釈の文となるという相違が背景にあるからであると考えられる。

(ウ) A は B に財布を盗まれた (持ち主の受身, 持ち物)

a. Beg duit Zulkifuli dicuri oleh Aminah.

財布 ズルキフリ 盗まれる ～によって アミナ
(ズルキフリの財布はアミナに盗まれた)

この場合, ズルキフリを主題にした次の様な形は認められない.

b. *Zulkifli dicuri beg duitnya oleh Aminah.

ズルキフリ 盗まれる 彼の財布 ～によって アミナ

家族のメンバーが, 何らかの被害を受ける場合も, (ウ)b.と同様, この構文は次の例に見られる如く, 非文となる.

c. *Zulkifuli dibunuh anaknya oleh jirannya.

ズルキフリ 殺される 彼の子供 ～によって 彼の隣人
(ズルキフリは子供を隣人によって殺された)

(エ) 昨日の夜, 私は赤ん坊に泣かれた. それでちっとも眠れなかった. (自動詞からの間接受身)

マレーシア語には, この日本語の意味を表す受動構文は見当たらない. この日本語の意味を表すマレーシア語は次の様になる.

a. Malam semalam bayi menangis terus-terusan menyebabkan saya tidak

夜 昨日 赤ん坊 泣く 続ける ～を生起する 私 否定辞

dapat tidur sekejap pun.

できる 眠る 一睡 ～さえも

(昨日の夜赤ん坊が泣き続けた, それで私は眠ることができなかった)

マレーシア語では, 受動構文ではないが, 日本語の被害の受け身に当たる意味を表す幾つかの特別な構文が存在する. その例を次に掲げる,

b. Dia kematian isterinya tiga tahun yang lalu.

彼 死なれる 彼の妻 3 年 前

(彼は3年前妻に先立たれた)

c. Dia kehujanan di tengah perjalanan.

彼 雨に降られる ～に 中 行程

(彼は途中で雨に降られた)

d. Dia kemalaman sebelum sampai di destinasi.

彼 行き暮れる ~しない中に 着く ~に 目的地

(彼は目的地に着く前に行き暮れてしまった)

(㊦) 新しいビルが (A によって) 建てられた。(モノ主語受身, 一回的)

a. Sebuah kilang didirikan oleh Syarikat Sony.

ひとつ 工場 建てられる ~によって 会社 ソニー

(ソニーによって工場がひとつ建てられた)

この文は、ソニーが工場をひとつ建てたという、過去の出来事による現在の結果、あるいは状態を表す文であるが、具体的に今建設途中であることを表すには次の様に、sedang (～している最中) という助動詞を使って表す。

b. Sebuah kilang sedang didirikan oleh Syarikat Sony.

ひとつ 工場 ~している最中 建てられる ~によって 会社 ソニー

(ソニーによって今工場がひとつ建設中である)

又、次の様に言えば、この工場を建てたのはソニーであるということを述べた文となる。

c. Kilang ini didirikan oleh Syarikat Sony.

工場 この 建てられた ~によって 会社 ソニー

(この工場はソニーが建てた (ものだ))

(㊧) カナダではフランス語が話されている。(モノ主語受身, 恒常的, 動作主が問題にならない場合)

a. Di Kanada bahasa Perancis digunakan.

~で カナダ 言語 フランス 話される

(カナダではフランス語が使われている)

これと同じ意味を能動態の文で言えば次の様になる。

b. Di Kanada mereka menggunakan bahasa Perancis.

~で カナダ 彼等 使う 言語 フランス

(キ) 財布が (A に) 盗まれた。(モノ主語受身。モノ主語の背後に被影響者が想定される)

a. Kantung wang saya dicuri orang.

財布 私の 盗まれた 誰かに
(私の財布が (誰かに) 盗まれた)

この文は物が受動文の主語となっているが、モノ主語の背後に被影響者が想定されている文ではない。この文に現れる orang は、「誰か」の意味で、或人物と特定されない不定代名詞なので、そういう性格の語に、動作主強調の oleh 句が付くことは、機能的に齟齬を来すので、次の様な文は排除される。

b. *Beg duit saya dicuri orang.

財布 私 盗まれる 誰かに
(私の財布が (誰かに) 盗まれた)

尚、マレーシア語には、日本語の被害の受け身の様に、被害を被る主体が主題として現れる次の様な構文がある。

c. Saya kecurian beg duit.

私 盗まれる 財布
(私は財布を盗まれた)

(ク) 壁に絵が掛けられている。(モノ主語受身、結果状態の叙述。)

a. Pada dinding tergantung sebuah lukisan.

絵 ~に 壁 掛けられている
(壁に絵が掛けられている)

この文は完了と受動の両方の意味を有する接頭辞の ter-が付いた文で、壁に絵が掛けられた結果としての現在の状態を表している。ter-は結果に主眼を置く言い方であるので、動作主は考慮の外に置かれている。

tergantung の代わりに digantung とすると、掛けた人物を考慮した言い方となる。例えば、次例では、その絵を掛けたのは、Aminah ですという意味を表す。

b. Lukisan itu digantungkan oleh Aminah.

絵 この 掛けられる ~によって アミナ
(この絵はアミナによって掛けられた)

(ケ) A は B に／から愛されている。

a. Aminah dicintai oleh Cikgu.

アミナ 愛されている ~によって 先生

(アミナは先生によって愛されている)

日本語では「に」も「から」も使えるが、マレーシア語では、他の受動構文の動作主を表す oleh が使われる。この文の能動態の文は次の様になる。

b. Cikgu mencintai Aminah..

先生 愛する アミナ

(先生はアミナを愛している)

(コ) A は B に／から「...」と言われた。(伝達動詞の受身, 特に動作主のマーカ―に注目)

a. Aminah dikatakan oleh Zulkifli mencuri jam tangannya.

アミナ 言われている ズルキフリに 盗む 彼の腕時計

(アミナはズルキフリに、腕時計を盗んだと言われている)

日本語では、こういう場合、「から」も可能であるが、マレーシア語では、他の3人称の受動構文の場合と同じく、動作主を di-+語幹の直後に置いた形で表す。